令和２年７月度理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　　令和２年６月２３日（火）
２．開 催 日 時　　令和２年７月２１日（火）　１３時３０分～１４時５０分
３．開 催 場 所　　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　　２２人
５．監 事 総 数　　３人
６．出席理事数　　１８人（Web 会議システムによる出席１８人）
７．出席監事数　　３人（Web 会議システムによる出席　３人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、原田 政吾、竹内 博次、曽根 光彰、南　直樹、齊藤 基樹、伊藤 雄平、宗村 進之介、秋山 正稔、山田　毅、田村 大輔、横山 聡洋、藤田 亮則、後藤 章洋、玉木 寛之、上島　健、高橋　明、安室 篤志

９．出席監事の氏名

川崎 一郎、池田 隆久、川村 道夫

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　今年度の組合運営及び活動について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から４月末に行ったコロナウイルス感染症の影響度調査結果（資料）とはかなり現況は悪化していることの報告があり、各委員会では、コロナウイルス感染症の拡大防止のため、Web 会議と書面による情報共有を行い、活動して行くことになったとの説明があった。

嶋崎議長は、調査から約３ヶ月経過し、現況について意見を求め、曽根副理事長、伊藤理事及び藤田理事から報告があった。

・自動車部品が少し良くなってきた。電気機器メーカーの部品が動いている。
・自動車と産業機械が 4 割減。７～９月が底で、その後良くなるとの希望的観測がある。
・トラック・建機中心で受注残が終了した。９月、１０月から良くなるとの希望的観測がある。

嶋崎議長の指名により、６月２４日開催の工業会のマーケティング委員会での他地区の市場動向調査について南副理事長、田村理事、上島理事及び後藤理事から報告があった。

・自動車メーカーが動き始めていること。
・工作機械が５割減。
・建機が厳しい。
・短期間で売上が落ち込んでいる。
・雇用調整を行っている。
・新車の契約台数があるが、部品が入ってこない状況。
・秋以降動き始めるのではないか。

嶋崎議長は、会議については、少なくとも年内は Web 併用で行い、参集して会議が出来る状況になったら、判断をしたいと述べられた。また東部はエリアが広いので、必要なシステムや機器については、賛同を得ながら導入をして行きたい旨述べられた。次回の９月理事会については、Web 開催で行うことが確認された。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第２号議案　令和２年度東京都中小企業団体中央会会長表彰候補者推薦及び東京都中央会創立６５周年記念東京都知事感謝状候補者推薦について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長は、東京都中央会表彰規程の推薦基準を朗読したのち、この要件に該当する候補者が今年度はいないことの報告があった。

続いて安室事務局長は、東京都中央会創立６５周年記念東京都知事感謝状候補者の推薦基準の概要を資料に基づき説明し、団体役員（組合功労役員）として嶋崎理事長が該当することを報告した。

審議の結果、嶋崎議長より次のとおり推薦することを議場に諮ったところ、全員一致で可決決定した。

団体役員（組合功労役員）　嶋崎　利行

第３号議案　各委員等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、原田副理事長から、６月１２日に開催された令和２年度第１回総務委員会について、議事録に基づき説明があった。まず Web で開催されたことの報告があり、主な内容としては、①熊木委員（浅川熱処理㈱）が副委員長に就任、②リニューアルした組合 HP を７月１日公開日とする、③コロナウイルス感染症禍における稼働状況等について、④外国人材の雇用について取り組むこと。

嶋崎議長から、１６日に一般社団法人日本金属熱処理工業会の臨時正副会長会があり、「外国人技能実習制度」の評価試験作成に関する WG（ワーキンググループ）を設置することになったことの報告があった。現在、一般社団法人日本金属熱処理工業会の総務委員会で行っている外国人実習制度 WG とは別に設置し、各組合から３名の委員（事務局はオブザーバー参加）を選出することになったことの説明があった。正副理事長会で東部の候補者について検討し、下記の３名の候補者について事務局より打診し、了解いただいたことの説明があった。

嶋崎議長より議場に諮ったところ、全員一致で可決決定した。

候補者；南　直樹 副理事長（㈱丸菱電子）、横山 聡洋 理事（日新化熱工業㈱）、
吉田 剛司 技術副委員長（田村工業㈱）

続いて安室事務局長より、6月１６日開催の第１回BCP推進WGと７月１５日開催のBCP推進 WG 正副リーダー打合せ会について報告があった。主な内容としては、①サブリーダーの選出［高崎 一樹（日本電子工業㈱）］、②エリア分けの設定、③組合 HP での情報発信、④第２回の開催について［８月７日（金）］。正副リーダー打合せ会では、①タイムスケジュール、②サブの策定委員の選出、③エリアリーダーの選出について。

玉木リーダー（理事）より、３年間で組合 BCP 策定実施についてタイムスケジュールの設定と代替生産を念頭に置いたシステムの構築について説明があった。

齋藤理事から、「油の流出」対策として土嚢に代わる有効な製品が高価なため、業界として国に対し補助金などの支援を要請できないかとの質問があった。

嶋崎議長から、BCP に必要なものについての情報をいただき検討したいと述べられた。玉木リーダーより、組合で連携の認定を受けているので、参加企業に加わっていただければ、防災減災に関する減税措置が受けられることと関東経済産業局から助成金や補助金の情報を入手したら報告したいとの説明があった。

川村監事から、昨年の台風１９号に関する被災について補助金を３／４受けたことの報告があった。

引き続き安室事務局長から、青年部会については、コロナウイルスの影響により、６月に予定していた講演会を中止した後、正副部会長で検討し、書面による情報交換を行ったことの報告があった。主な内容としては、①部会を Web 開催するにあたり、メンバーのインターネット環境について、②コロナウイルス感染症禍における現状について、③関東経済産業局との連携について。

田村部会長から、関東経済産業局との強い繋がりを更に構築して行きたいことの説明があった。嶋崎議長から、近々関東経済産業局に挨拶に行く予定であることの報告があった。

安室事務局長から、７月８日開催の技術・品質委員会正副委員長会について報告があった。主な内容としては、①今後の活動計画として講習会については、組合員企業として参加者を出すことが難しいことや三密を避けることから開催を見送る、②Web による委員会の開催、③この状況下で出来ることを検討する、④品質委員会の委員長に藤田理事が就任したこと。

横山理事から、９月の委員会から来年度の講習会の開催について検討して行きたいことの説明があった。

嶋崎議長から、厚生労働省として前期の実施を中止した金属熱処理技能検定試験の３級について後期に実施したい意向の情報を得ていることの報告があり、東京都としては実施しない方向であることの説明があった。

安室事務局長より、７月１６日に Web で開催したマーケティング委員会について報告があった。主な内容としては、①「価格交渉サポートセミナー」については見送りする、②金属熱処理加工の価格及び使用設備調査の再案内と回収率の向上について、③市場動向に関する情報交換について。

嶋崎議長から、価格交渉サポートセミナーの代わりに新しくなった素形材取引ガイドラインの啓蒙のために周知が出来ないかとの提案があり、正副委員長と相談することになった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第４号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、令和２年４月から６月までの組合員・賛助会員の異動について報告があった。

嶋崎議長から、今回の Web 会議について意見が求められた。宗村理事、秋山理事、山田理事、川崎監事、池田監事から感想が述べられた。

嶋崎議長から、山田理事が自社で作成された「コロナウイルス感染症に関するマニュアル」の情報提供について謝辞が述べられた。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和２年７月２１日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　原田 政吾　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　齊藤 基樹　㊞

〃　伊藤 雄平　㊞

〃　宗村 進之介　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

出席理事　上島　健　㊞

〃　高橋　明　㊞

〃　安室 篤志　㊞

出席監事　川崎 一郎　㊞

〃　池田 隆久　㊞

〃　川村 道夫　㊞